

**株式会社ジェイコムさいたま 北局 南局**  
**2015 年度(平成 27 年) 放送番組審議会 議事録**

【日 時】 2015 年 11 月 5 日(木) 11 時開会

【場 所】 株式会社ジェイコムさいたま 南センター 1F 会議室

**<放送番組審議会委員>**

ご出席(五十音順)

内木 滋郎様	大島 清様	斎藤 陽子様	清水 志摩子様
平沼 大二郎様	守屋 二郎様	富田 均様	

ご欠席(委任状提出)

高梨 邦彦様

事業者側から J:COM 新サービスの報告及び J:COM チャンネルの報告があった。

**【質疑応答・意見交換】(平沼会長による進行)**

**1. 『デイリーニュース』に関する審議**

(情報提供について、「さいたまクリテリウム」の全国発信を評価)

**委員** 番組キャスターは、分かり易く、テキパキしている。

事前に情報提供した浦和レッズサッカー教室や伊奈町の婚活の催しなど細かく取材してもらっている。「さいたまクリテリウム」を全国に発信できたのは、良かった。

**事業者** デイリーニュースは、地域プロデューサーを 2 名配置して更に細かいネタを扱うようになり、通常 1 日に 1、2 ネタを取材、時には 1 日 3 ネタ以上の取材を行っている。今後は、ニュースのネタ探しを地域プロデューサーが担い、これを受けて制作スタッフが効率よく取材の機会を増やし地域情報を発信していきたい。「さいたまクリテリウム 2015」は、J-SPORTS の中継映像を世界 171 の国と地域に放送し、国内外に PR することが出来た。

**(商店会 PR 番組の提案)**

**委員** 昨今、商店会が元気が無くなっている傾向もあるが、商店会が企画運営している年間イベントの中で面白いものも多い。それらの情報を集めて番組化するなど地域の商店会をアピールしながら地域活性化目的で番組化や特集することは出来ないか。各商店会長や事務局からも情報提供が可能である。

**事業側** 早速ネタを集めたり情報を頂いて特集などを検討したい。

#### (情報の収集方法)

**委員** 地域誌の情報の集め方と言うと、さいたま市の PTA 連合会で知り合った子育て世代や主婦層の方々は、特に地域に興味ある人が多く、ボランティアで彼女たちから情報を頂いている。食のテーマなら夏ならカレー、冬なら鍋など、テーマを決めて 1 年に何回か会議を実施して、記事の材料にしている。シニア層は緩やかに時間を持っている方も多く、情報通となる方を何人か集めてはどうか。現在 2 名の特派員(地域プロデューサー)をもっと組織化すると、更に情報源が増えるのではないか。

#### (大学の情報発信)

**委員** 埼玉大学は、地域における身近な存在として、大学側でもホームページで情報発信しているが、なかなか見てもらえていない。さらに存在をアピールする為、J:COM には大学イベントを取り上げて頂いている。

**事業者** 埼玉大「むつめ祭」の模様を『たまスタ 7days』でミス埼大を交え、生中継をする予定。

#### (画面の暗さ、番組 MC のあり方)

**委員** 『デイリーニュース』と『たまスタ 7days』に画面が少し暗く感じる。テーブルが黒くて、出演者の衣装も暗めであると余計にそう感じる。内容が良いだけにこうしたところは勿体ない。観葉植物など背景を配慮してはどうか。民放等では、情報を正確に伝えるより自分を全面にアピールするキャスターやレポーターが多いようであるが、J:COM のような地域に根差した(コミュニティ)チャンネルでは、親しみやすく、好感が持てる方が望ましい。

J:COM というと、スポーツ番組のイメージが強いが、視聴者は若い世代が多いのか。

**事業者** 当社の独自視聴調査やプレゼント企画の応募状況の指標からすると、年齢の高い方が多く視聴頂いている。海外ドラマ、音楽、映画、スポーツ等の専門チャンネルの視聴となると、幅広い年齢層となる。

#### (『デイリーニュース』の再放送化、各種キャンペーン期間ネタの拡充)

**委員** 『デイリーニュース』の放送時間が夕方だけでは仕事と重なり、見られない。他の(地上波等の)チャンネルは全国向けの情報が多い、地元のことが気になるので身近な情報を早く出して欲しい。各団体による「〇〇月間」など多くあるが、「交通安全」や「防犯・防災」だけでなく、「健康・スポーツ分野」や「税」なども取り上げて欲しい。

**事業者** 再放送の要望もあり、22 時台の再放送が今月(11 月)から始まったので、ご視聴頂きたい。

## 2. 『たまスタ 7days』に関する審議

### (番組キャスターに好感)

**委員** キャスターが番組を盛り上げようとする姿勢が伝わり、好感を持った。地域情報を分かり易く伝えられている。

### (在日外国人向けの相談サービス)

**委員** さいたま市では、在日外国人、特にスペイン語圏の方が増えており、相談員が不足しているようである。J:COM でも何かしら対応できないか。

### (放送エリアの拡大の可能性)

**委員** J:COM 以外での放送の拡大は検討できないか。

**事業側** 埼玉県全域で放送している番組なので、J:COM 以外のケーブルテレビでも放送して頂く価値はあると思う。但し、J:COM の番組宣伝や新サービスの紹介もされるので、このあたりについて他社は難色を示す可能性もある。

### (病院情報発信、県内の企業・観光紹介の番組化)

**委員** 地域情報としては、本日欠席の高梨委員から以前より意見があるように、医師会などからの「病院情報」が求められていると感じている。また、県内は優れた企業が多いので、企業や観光も紹介する番組も考えられる。埼玉県は日本酒生産高が全国 4 位であることやどこも友好都市を結んでいるのか、それはどんな町かという情報なども、県民にはあまり知られていない。

### (「さいたまクリテリウム」のコース拡大、「さいたまトリエンナーレ 2016」に向けて)

**委員** 「さいたまクリテリウム」の冠スポンサーに J:COM がなってくれて嬉しかった。自転車保有率が日本一の埼玉県であるので、クリテリウムのコースは、さいたま新都心の周回よりも埼玉県内を走ったら各地でさらに盛り上がると思う。

**事業者** スポーツは国境を越えて親しまれるコンテンツである。特に埼玉はスポーツが低年齢から高齢層まで支持者が多い為、更に強化していきたい。

来年開催の芸術祭「さいたまトリエンナーレ 2016」の実行委員会には、お願いして当社のメンバーも参画させて頂きたい。早い段階で詳しい情報を入手出来れば、我々地域プロデューサー達が各地のロケーションを知っているため、街をどうデザインしていくのかなど、アイデアを色々と提案したいと考えている。

以上